

④⑩ 身近な自然を楽しむ : 今や桜が満開 (1)

Enjoy the surrounding nature: Cherry blossoms(1) in full bloom now

吉野輝雄

「桜の豆知識」 (<https://allabout.co.jp/gm/gc/220745/#>を要約)

桜の原種は約 10 種類存在し、それらが交配し自然界で自生している桜（「山桜」）が 100 種以上、さらに人の手で栽培された園芸種（「里桜」）が 300 種以上存在する。なお、八重桜は、里桜の八重咲き種である。

山桜の例としては、吉野山(奈良県)の桜、大島桜、江戸彼岸桜、河津桜、寒緋桜。

大島桜は、伊豆地方に自生している桜で、白い花と葉が同時に開く。

江戸彼岸桜(大桜)は、本州、四国、九州に分布する野生種。東京で多く栽培された淡紅色の桜。巨樹になる。

寒緋桜(カンヒザクラ)は、沖縄では 1 月末に咲く濃い紅色の桜、

河津桜は、伊豆地方で 1, 2 月に咲く、淡紅色の桜。

なお、染井吉野桜は、江戸時代末期に染井村（豊島区駒込）の植木屋が、大島桜と江戸彼岸桜を交配して作りだした里桜。

枝垂れ桜は、江戸彼岸桜の園芸品種(里桜)。

-----  
芦花公園で今（4 月上旬）満開のタカトウコヒガンサクラ(高遠小彼岸桜)は、長野県伊那市高遠町に咲く桜で、江戸彼岸と近畿豆桜の交配種(里桜)である。今年、東京では染井吉野桜が 4 月に入ってから満開となったが、それよりも 1 週間前に満開となった。3/28 に公園に行くと、外国人(中国語が多かった)に溢れていた。東京都が SNS で PR したためのようだ。桜並木の前の花の丘には、色とりどりのチュウリップも開き始め、冬を越えたパンジーと共に“百花繚乱”協奏曲を響かせ、来園者を魅了している様であった。

園内には、大島桜（次郎桜）、枝垂れ桜も咲き始めている。粕谷八幡神社の近くには、十月桜（その名の通り 10 月に満開となった後冬中、花が無くなることなく僅かながら咲き続けた）が、驚くことに今もう一度満開となっている。どこにそんなエネルギーが？ 十月桜は小彼岸桜と大島桜の交配種（里桜）だ。

なお、園内ではアーコレードという薄紅色の里桜（小彼岸桜と大山桜をイギリス人が交配した桜）が満開だ。園近くの家の庭で、濃い赤紅色の里桜(横浜緋桜)を見た。

\*以上は桜特集(1)、特集(2)ではこれから開花する黄緑色の里桜と八重桜を採り上げる  
※ [付記]

No. ②③ 「身近な自然を楽しむ 日本を代表する春の花と言えど？そりゃ桜でしょ」(2023/4.11 号) でも桜を特集したので、合わせてご覧ください。

・アルバム <http://www.sengawacx.com/EnjoyNaturesurroundedNo23.jpg>

・解説 <http://www.sengawacx.com/CommentEnjoyFlowersNo23.pdf>